

エニー電動ハンガーゲート

取付説明書

●このたびは東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

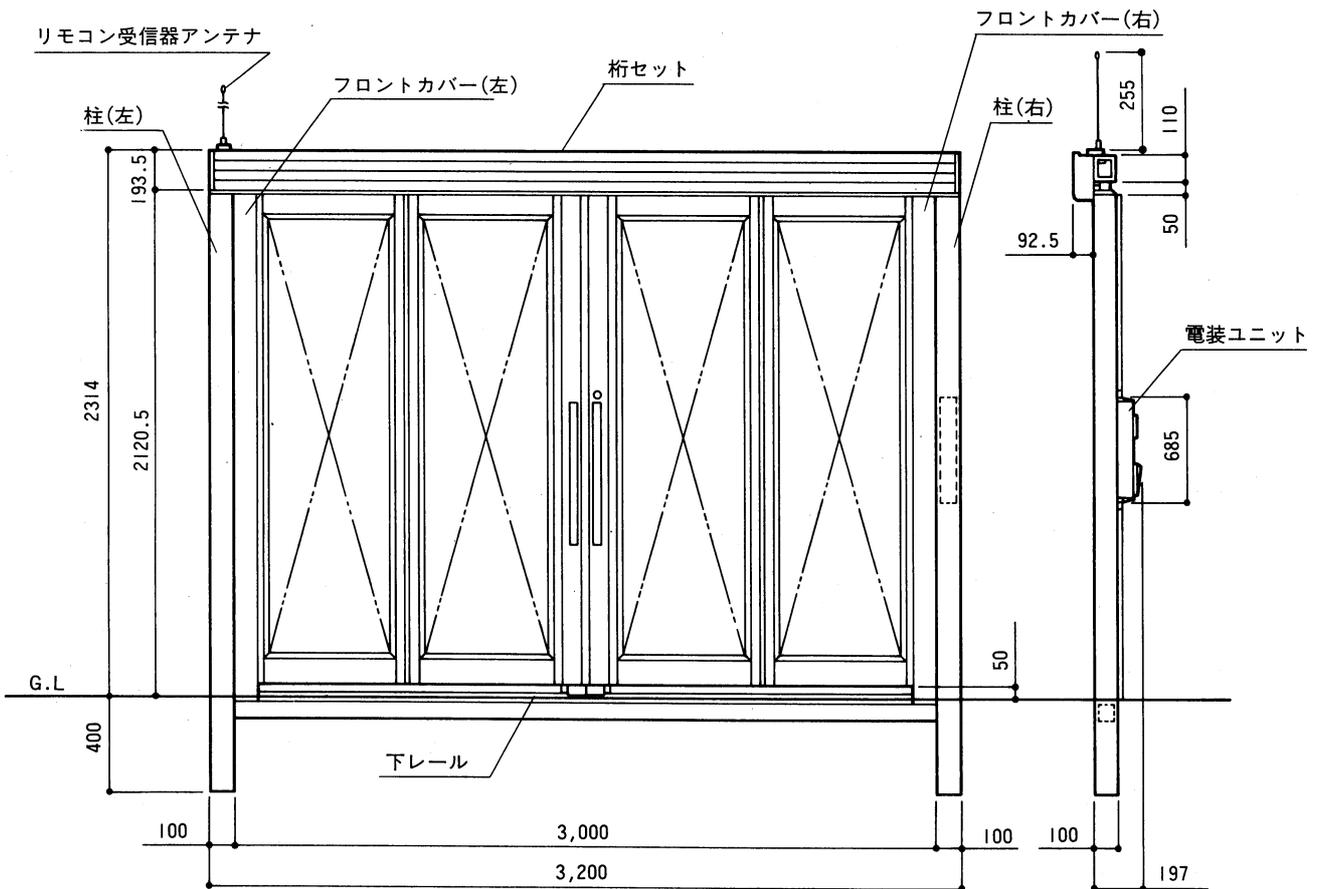
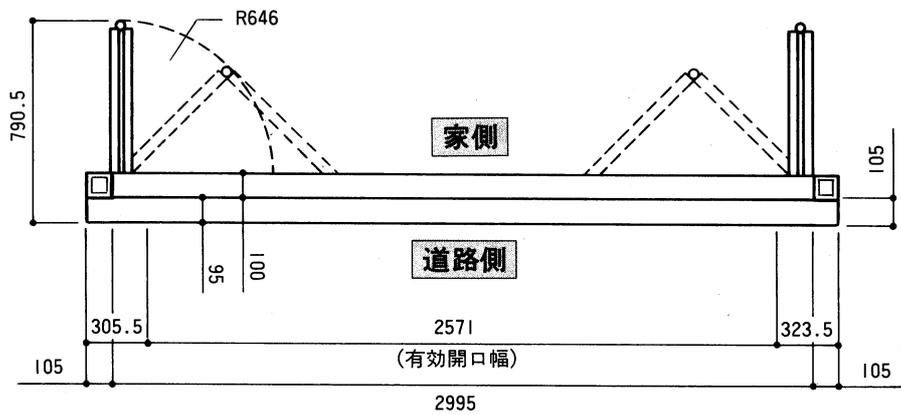
〈施工の前に〉

- ①正しく施工、組付をしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- ②設置場所の確認
 - ①施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
 - ②主屋の屋根からの雪の落下を直接受けない位置かどうか確認してください。
 - ③施工場所の気象条件（風、雪等）に合った商品かどうか確認してください。
 - ④強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上等の施工は避けてください。
 - ⑤パネルの通り路に障害物がないか御確認ください。
- ③規格表、梱包明細で必要な部材、商品が揃っているか確認してください。
- ④組立、施工途中では
 - ①ボルト、ネジは弊社純正品を規定本数で確実に締付け固定してください。
 - ②取付説明書の順序通り組付けてください。製品の強度等、性能を低下させる場合が発生します。
 - ③アルミ製品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。
- ⑤基礎工事について
 - ①基礎寸法は、取付説明書の通りの寸法としてください。地盤の種類によっては、倒壊の危険性が発生します。
 - ②基礎コンクリートには、塩分を含む砂、および塩素系のモルタル混和剤を使用しないでください。
- ⑥この商品は過電流保護付き漏電ブレーカーの設置とアース工事（第三種接地工事）が必要です。電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。
- ⑦製品の改造は絶対に行わないでください。
- ⑧施工完了後は
 - ①ボルト、ネジ等に緩みがないか確認してください。
 - ②施工中の汚れは取り除き、誤ってつけたキズは、補修塗装をしてください。
- ⑨施工終了後、取付説明書は取扱説明書と一しょに施主様にお渡しください。

〈施主様へ〉

御使用前には必ず〈施主様用お取り扱い説明書〉をお読みください。

姿図及び基本寸法



■ 梱包明細書

●ハンガーゲート電動用枠セット

名 称	員 数
フロントカバー(右)	1
フロントカバー(左)	1
ゲージセット	1
レール(右)(端キャップ付)	1
レール(左)(端キャップ付)	1
センターレール	1
センターレール取付ネジM5×10トラス	4
レール裏板A	12
レール取付ネジM5×10トラス	16
下戸袋セット	2
はね出しローラー	4
はね出しローラー取付ネジM5×12セムス六角ボルト	8
はね出し樹脂(右)	1
はね出し樹脂(左)	1
上戸袋(右)	1
上戸袋(左)	1
はね出し樹脂(右/左)取付ネジM5×40サラ	4
上戸袋(右/左)取付ネジM5×40サラ	4
ゲージ金具セット	2
ゲージセット取付ネジM5×10トラス	16
フロントカバー取付ネジM5×10トラス	8
フロントカバー取付ナットM5ナット	8
下ローラーセット	2

名 称	員 数
下ローラー金具取付ネジφ4×10トラス	4
パネル連結板	2
パネル連結板受板	2
パネル連結板取付ネジM5×45ナベ	4
パネル連結板取付平ワッシャー	4
パネル連結板取付スプリングワッシャー	4
スライドベース・パネル連結板取付ネジM5×12ナベWセムス	4
配線ダクト	2
配線ダクト取付ネジφ4×10トラス	12
鎌錠プレート	1
電装ユニット取付ネジφ4×10トラス	4
アンテナセット取付ネジφ4×10トラス	2
フロントカバー・ベースカバー取付ネジφ4×10トラス	2
ベースカバー取付ネジφ4×10トラス	4
側面キャップ(右/左)取付ネジ(1)φ4×10トラス	6
側面キャップ(右/左)取付ネジ(2)φ4×20トラス	2
予備ビスセットφ4×10トラス	5
コーキング剤	1
両口ス/バナ(8-10)M5、M6用	1
両口ス/バナ(10-13)M6、M8用	1
潤滑剤	1
取付説明書	1

●ハンガーゲート電動用桁セット(ゲート用)

名 称	員 数
桁セット	1
ベースカバー	1
側面キャップ(右)	1
側面キャップ(左)	1
電装ユニット	1
リモコン送信器(小箱入り)	1
リモコン送信器アンテナセット	1
施主様用取扱説明書	1
保証書	1

●ハンガーゲート電動用桁セット(カーポート)

名 称	員 数
前桁セット	1
ベースカバー	1
側面キャップ(右)	1
側面キャップ(左)	1
後桁セット	1
電装ユニット	1
リモコン送信器(小箱入り)	1
リモコン受信器アンテナセット	1
施主様用取扱説明書	1
保証書	1

●ハンガーゲート扉本体A型(又はB型)掛

名 称	員 数
扉本体(掛)	1

●ハンガーゲート扉本体A型(又はB型)受

名 称	員 数
扉本体(受)	1

●エニーハンガーゲート錠(部品セット)

名 称	員 数
作動側把手	1
固定側把手	1
シリンダー(キー付)	1
エマーゼンシー	1
シリンダーカラー	1
エマーゼンシーカラー	1

名 称	員 数
ビスセット	8
内座取付ビス M5×35サラ	8
内把手取付ビス M5×30サラ	8
シリンダー取付ビス M4×60サラ	2

●オプション

名 称	員 数
リモコン送信器セット	1
外部押ボタンスイッチセット	1

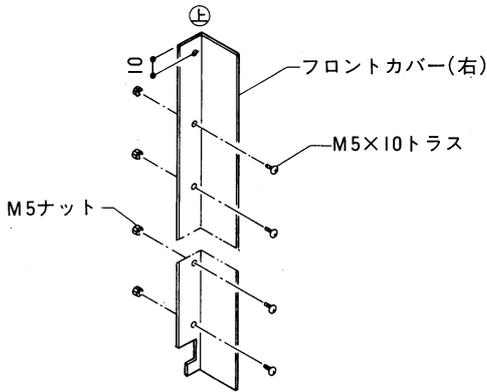
※柱・桁の組付けは、「エニーアーチ部品セット」の取付説明書をご覧ください。

※錠の把手の組付けは、「エニーハンガーゲート錠」の取付説明書及び「16. 鎌錠プレートの取付け」をご覧ください。

※エニー電動ハンガーゲートとカーポートの組合せの場合には、「エニー(カーポート・ゲート仕様)」の取付説明書をご覧ください。

1. 基礎施工前の準備

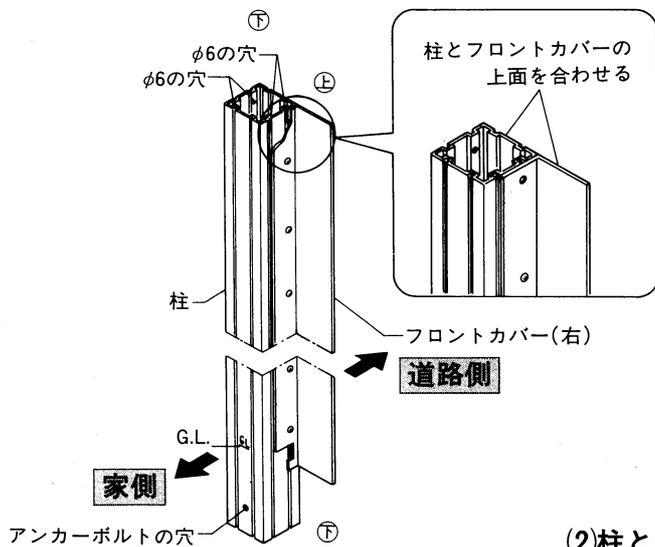
(1) 柱とフロントカバー(右、左)の組付け



- ①「フロントカバー取付ネジ(M5×10トラス)」を使用します。
 - ② // ナット(M5ナット) //
- 「フロントカバー(右、左)」には上下があります。確認の上取付けて下さい。
 (1)フロントカバーにネジとナットを仮止めて下さい。

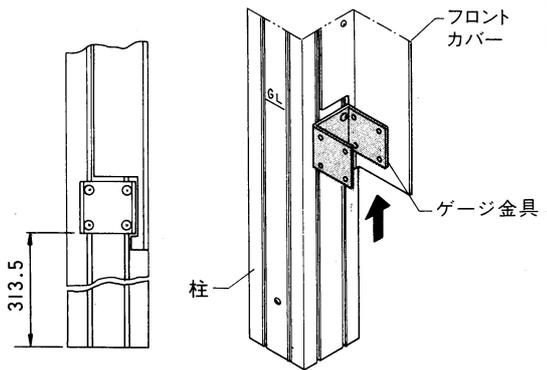
(2)フロントカバーに仮止めたナットを柱の溝にすべり込ませ、ネジを締めつけて下さい。

- 注> ●必ず柱とフロントカバーの上面を合わせて下さい。
 ●フロントカバーを取付ける面は、溝の中にφ6の穴があいている面です。
 ●左図は道路側から見て、右用の柱を示します。左用の柱は対称とします。



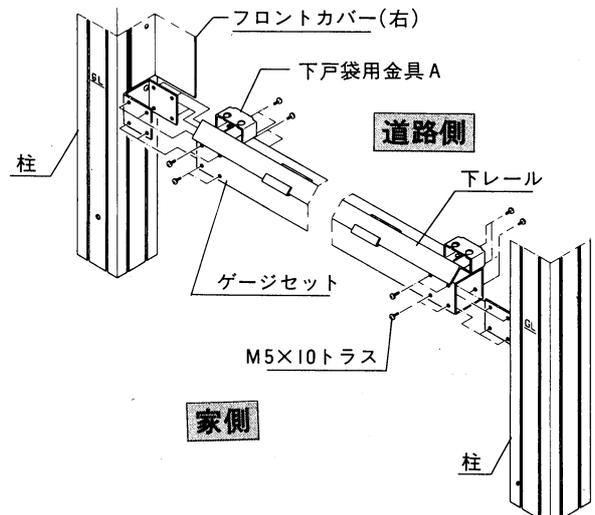
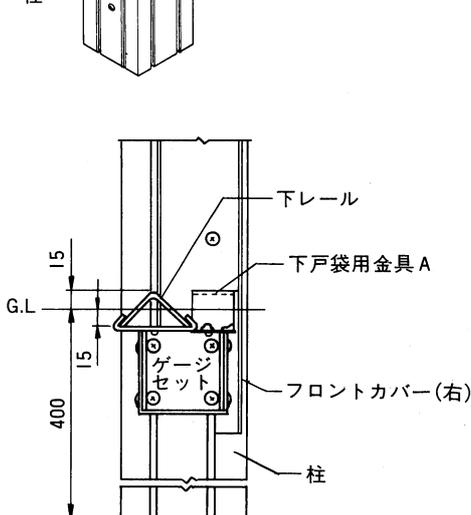
(2) 柱とゲージ金具の組付け

- ①ゲージ金具にあらかじめ付いているM5用のナットをゆるめて下さい。
 - ②ゲージ金具のM5ナットを柱の溝にすべり込ませ、フロントカバーの切欠き部分におさめ、ネジを締めつけて下さい。
- 注> ●ゲージ金具の向きに注意して下さい。



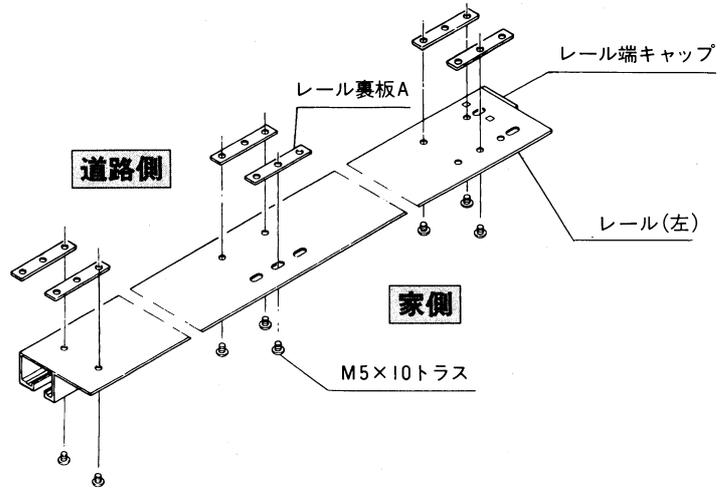
(3) 柱とゲージセットの組付け

- ①「ゲージセット取付ネジ(M5×10トラス)」を使用します。

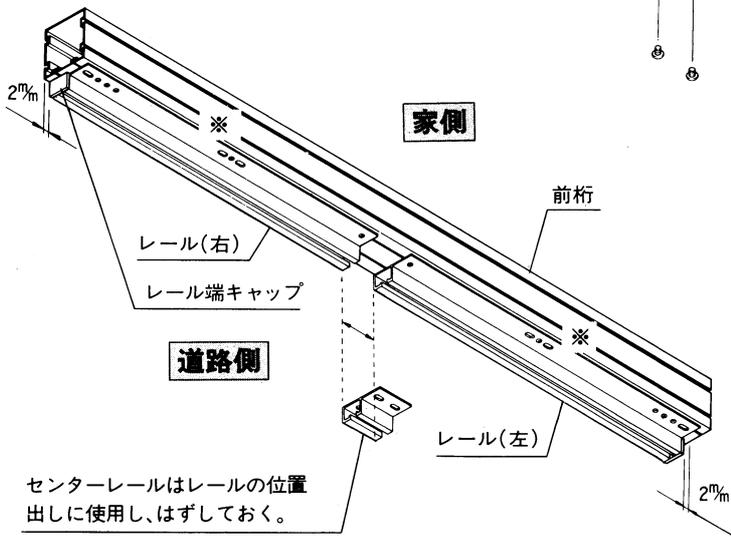


2. レール(右、左)の取付け

- (1) レールにレール裏板 A を仮止めします。
 ① 「レール取付ネジ (M5×10トラス)」 を使用します。
 「レール裏板 A」 は、確認の上取付けて下さい。



- (2) レールを桁に取付けます。

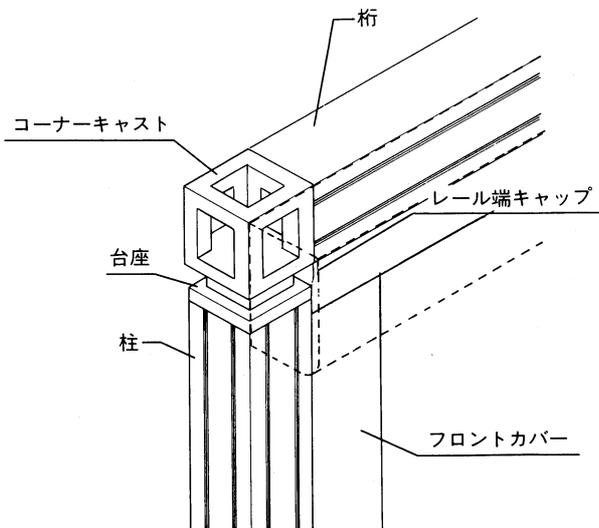


- 桁の溝にレール (左右) に組付けた裏板 A をすべり込ませた後、センターレールをレール (左右) の間におき、レール (左右) とセンターレールの間にスキ間がないようにした後、※印以外のネジを締めつけて下さい。
 次にセンターレールをはずして下さい。
 (ここからパネルを吊るためです)

3. コーナーキャスト・台座の取付け

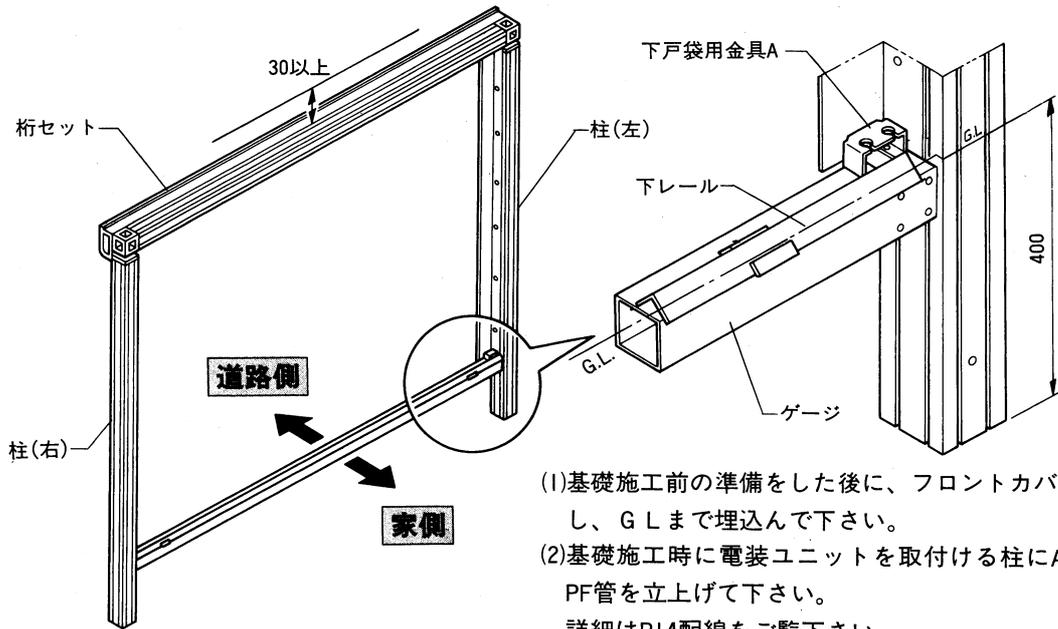
- 桁にコーナーキャスト・台座を取付けます。
 詳細は、「エニーアーチ部品セット」の取付説明書をご覧ください。

4. 桁(コーナーキャスト・台座・レール組付済)と柱の組付け

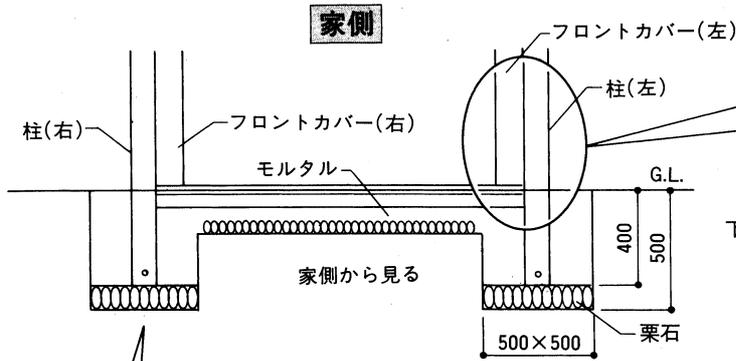


- 桁と柱を組付けて下さい。
 詳細は「エニーアーチ部品セット」の取付説明書をご覧ください。

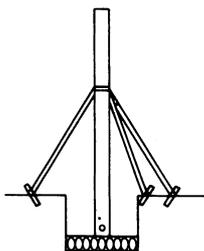
5. 基礎施工



- (1)基礎施工前の準備をした後に、フロントカバーを道路側にし、G.L.まで埋込んで下さい。
- (2)基礎施工時に電装ユニットを取付ける柱にAC100V電源用PF管を立上げて下さい。
詳細はPI4配線をご覧下さい。



柱の仮施工

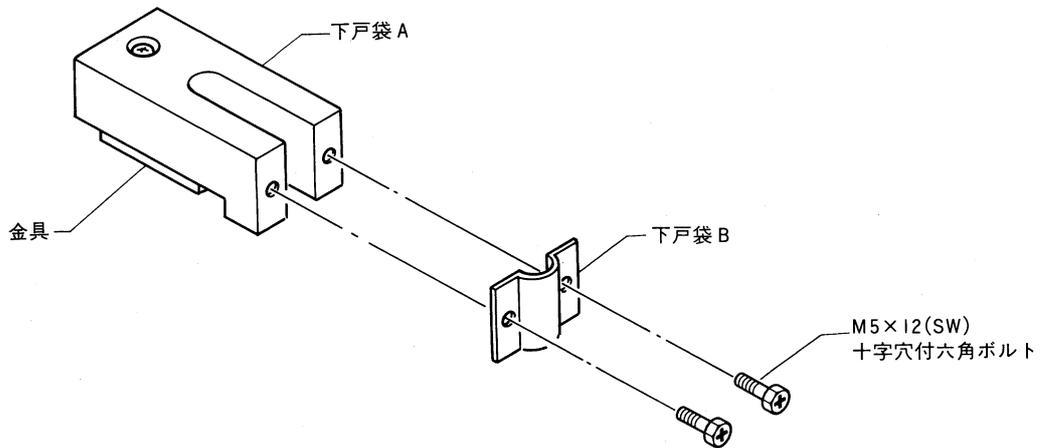


ロープ、あるいは添木を用いて柱を固定し、コンクリートが硬化するまでの間は十分に注意して下さい。

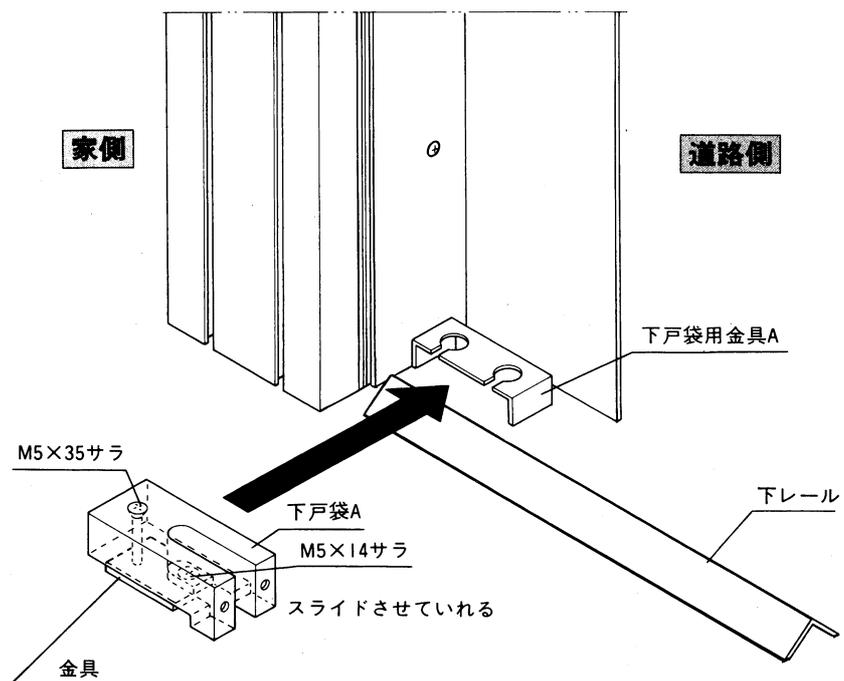
- 注) ●桁の上を30mm以上あげない場合、駆動部のメンテナンスができない場合があります。
- 下戸袋用金具Aの中にモルタルを詰めすぎないように注意して下さい。
詰めすぎますと下戸袋Aが取り付けできなくなります。
 - 柱、レールの埋込み位置高さ、水平度等は、十分に調整して下さい。調整が不十分な場合、パネルの作動に支障が生じる事があります。

6. 下戸袋の取付け

(1) 下戸袋セットを分解します。

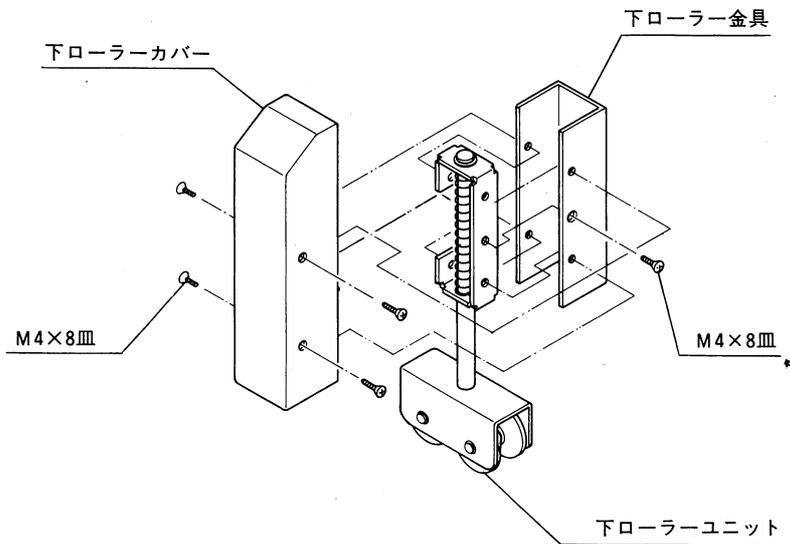


(2) 下戸袋 A を下戸袋用金具 A に取付けます。



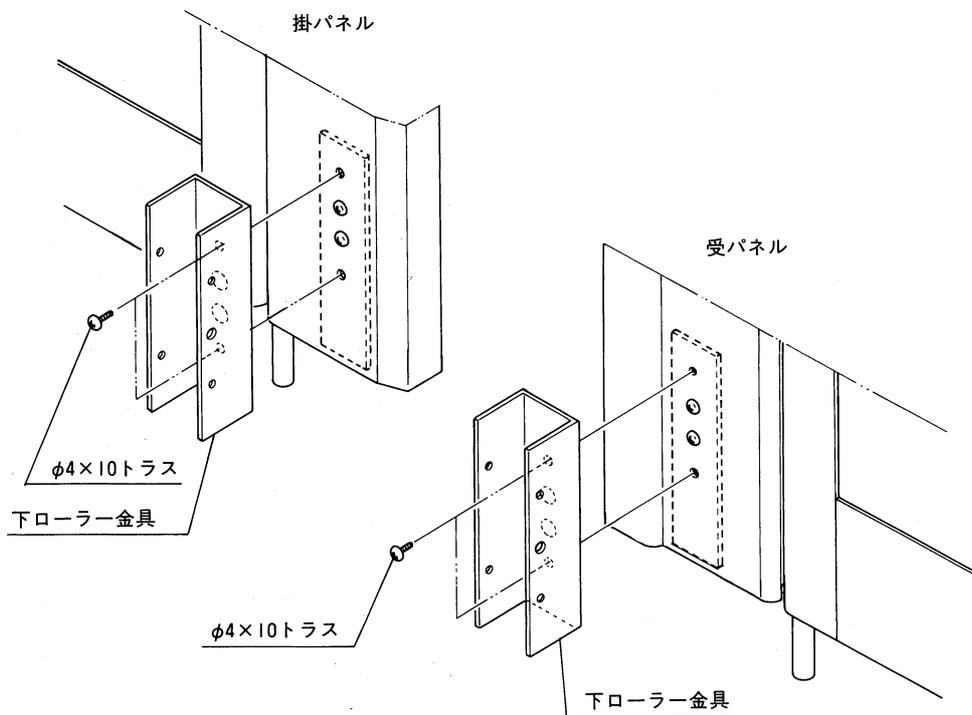
7. 下ローラーの取付け

(1) 下ローラーを分解します。



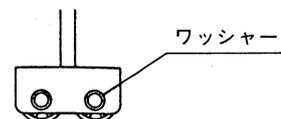
(2) 下ローラー金具をパネルに取付けます。

① 「下ローラー金具取付ネジ(φ4×10トラス)」を使用します。



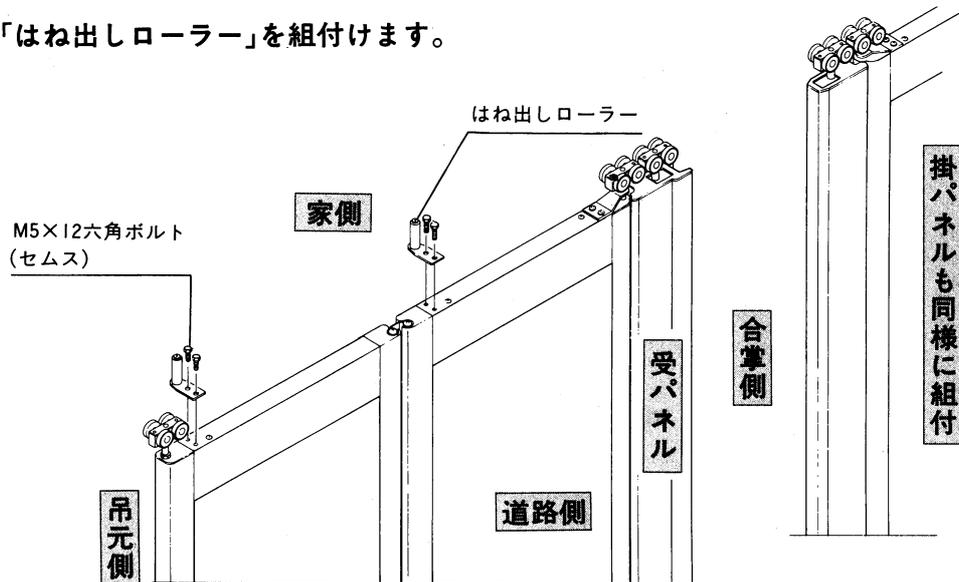
(3) (1)で下ローラーを分解した時と逆の手順で取付けます。

注) 下ローラーは、ワッシャー側が家側となりますので御注意下さい。



8. はね出しローラーの取付け

パネルに「はね出しローラー」を組付けます。

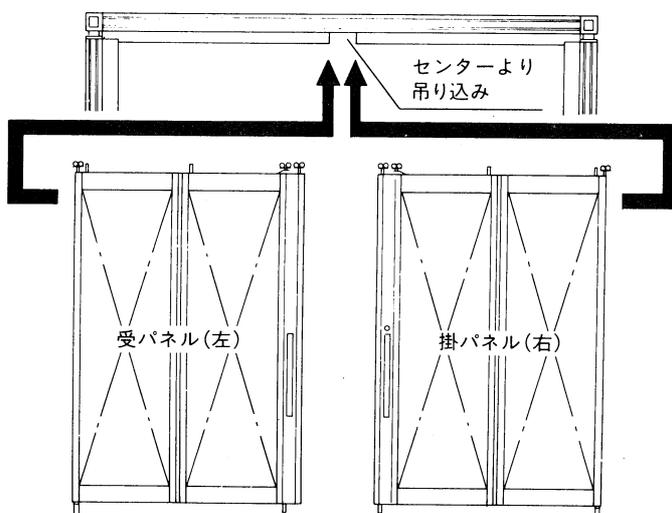


①「はね出しローラー取付ネジ(M5×12六角ボルトセムス)」を使用します。

●「はね出しローラー」の取付け向きがあります。確認の上組付けて下さい。

9. パネルのレールへの吊り込み

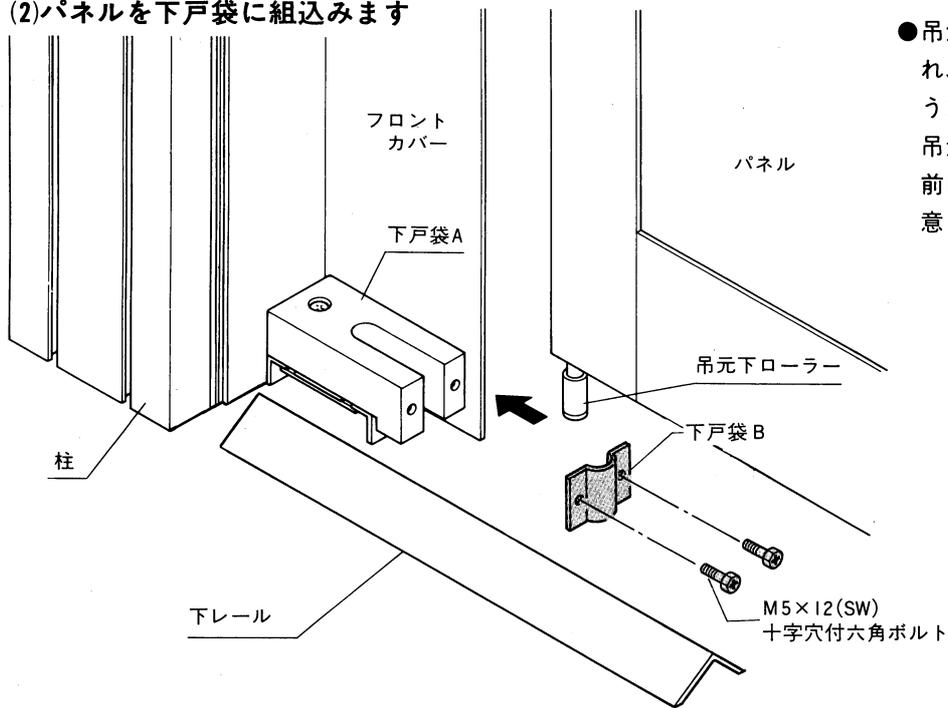
(1) パネルをレールに吊り込みます



●レールのセンターよりパネルを吊り込みます。道路側からみて(受パネル左・掛パネル右)になるようにパネルを吊り込んで下さい。(パネルは家側に折れます)

※道路側から見た場合

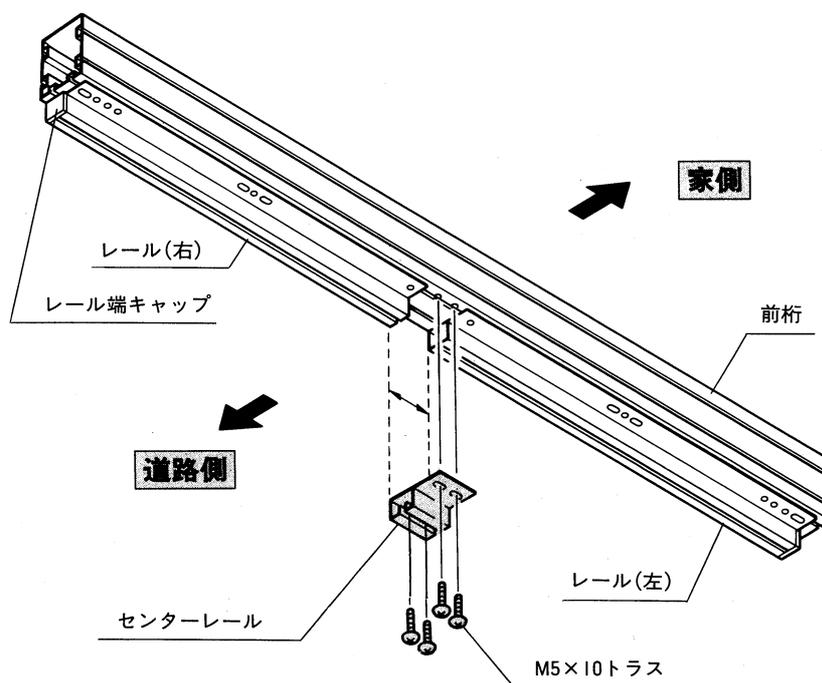
(2) パネルを下戸袋に組み込みます



- 吊元下ローラーを下戸袋Aの溝に入れ、下戸袋セットを分解した前のように組立ててください。
吊元下ローラーを下戸袋に組み込む前にパネルを折ると危険ですので注意してください。

(3) センターレールの取付け

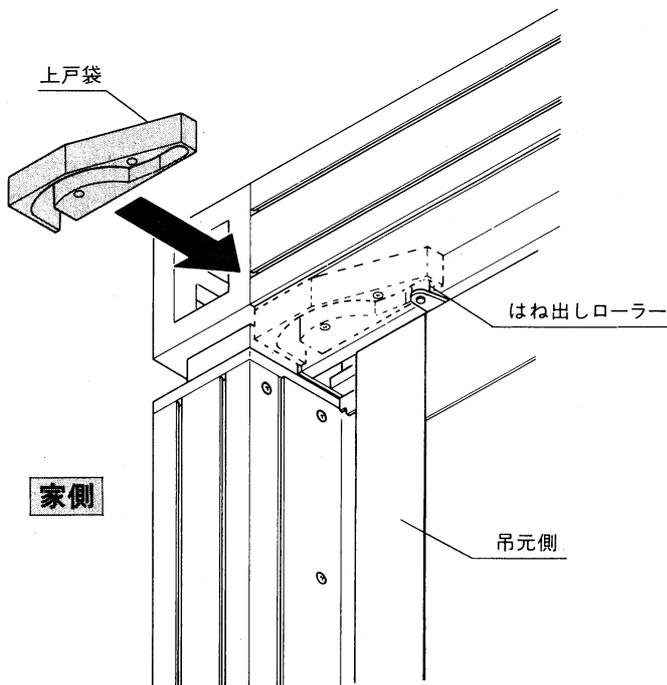
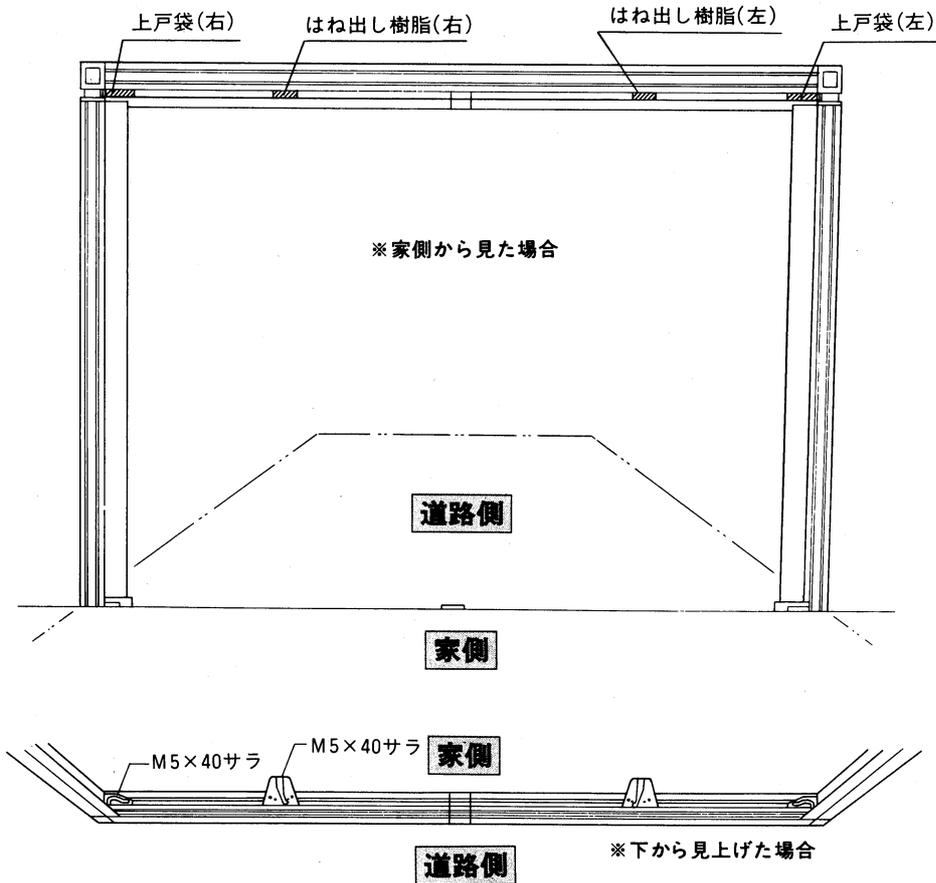
センターレール取付けネジ(M5×10トラス4本)で取付けて下さい。



10. 上戸袋、はね出し樹脂の取付け

1 「上戸袋取付ネジ(M5×40サラ)」を使用します。

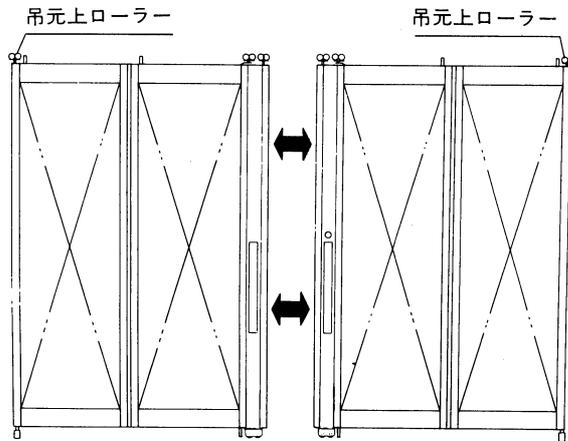
2 「はね出し樹脂



- 上戸袋(右・左)の組付けは、パネルを折った状態で上戸袋(右・左)の溝に吊元側の「はね出しローラー」を入れて下さい。
- はね出し樹脂(右・左)の取付ネジは仮止めして下さい。

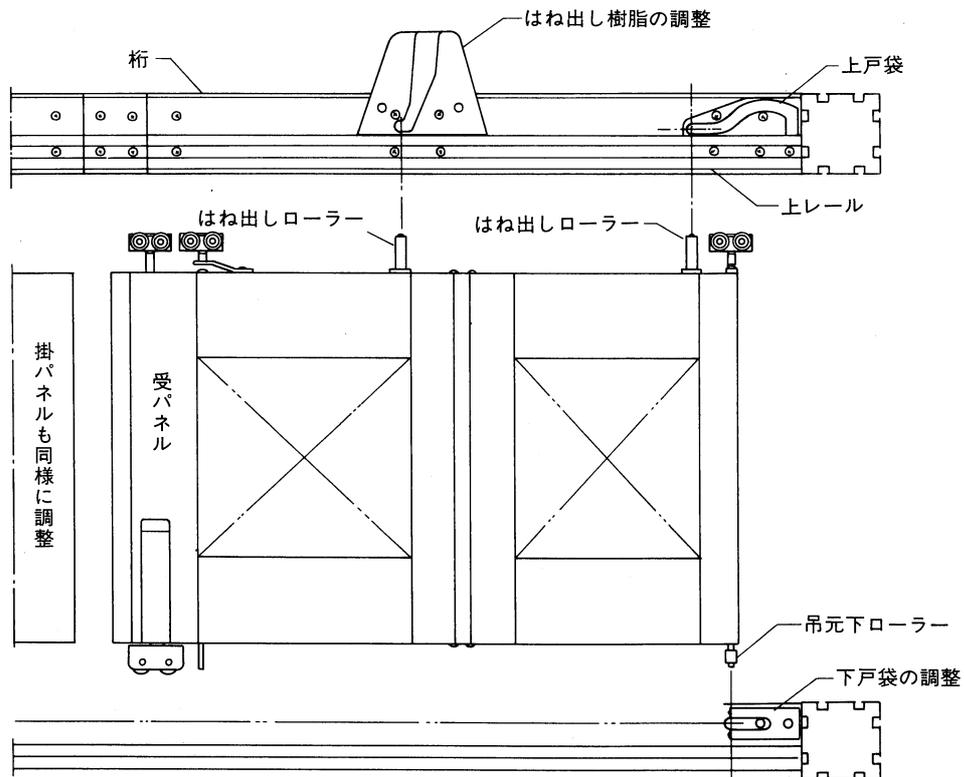
11. 調整

(1) パネル調整



- 吊元(上)ローラーを調整し受パネル・掛パネルの間隔が一定になるようにして下さい。

(2)(3) 下戸袋、はね出し樹脂(右・左)の調整



※家側から見た場合

(2) 下戸袋の調整

- 受・掛パネルを全閉した時、「はね出しローラー」が「上戸袋(右、左)」の溝にきちんとおさまるように「下戸袋」を調整して下さい。

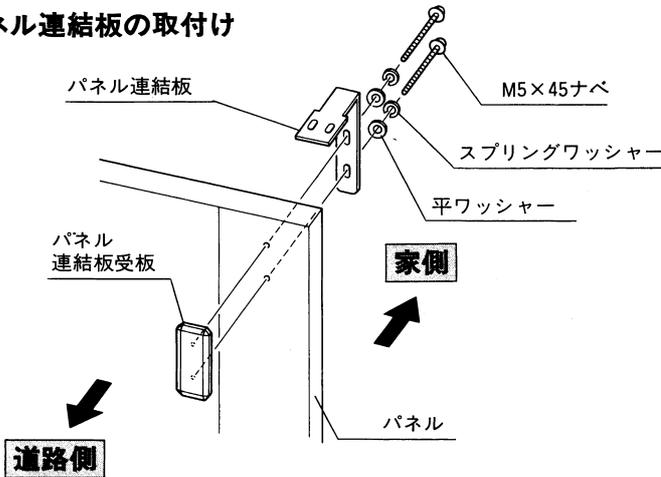
(3) はね出し樹脂(右、左)の調整

- 受・掛パネルを閉めた時、「はね出しローラー」が「はね出し樹脂(右・左)」にきちんとおさまるように「はね出し樹脂(右・左)」を調整して下さい。

12. パネル(掛)(受)の駆動部への連結

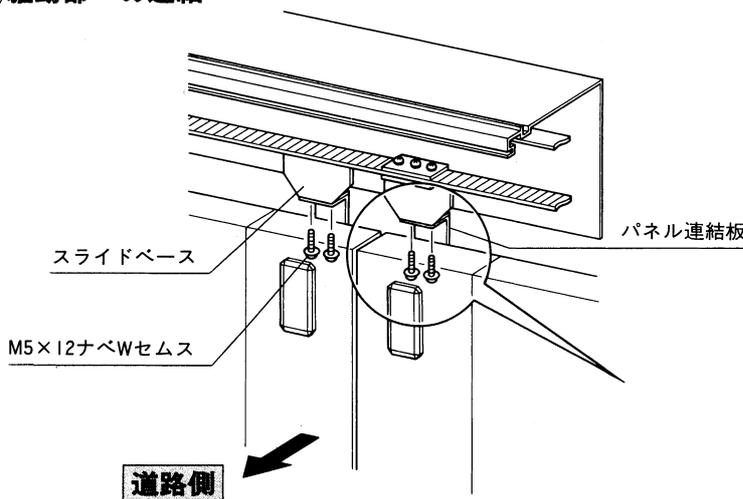
パネル(掛)(受)と駆動部を連結します。

(1) パネル連結板の取付け

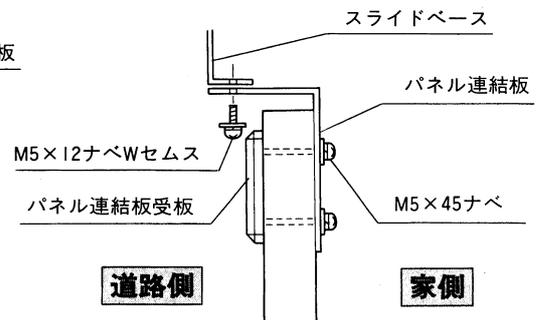


パネル(掛)、(受)それぞれパネル上部の押しボタンをはずし、パネル連結板、パネル連結板受板をパネル連結板取付ネジ(M5 x 45 ナベ2本)で取付けて下さい。

(2) 駆動部への連結



パネル(掛)、(受)を動かし、それぞれパネル連結板をスライドベースにスライドベース・パネル連結板取付ネジ(M5 x 12 ナベWセムス2本)で取付けて下さい。



13. 施工の確認(第一段階)

12項までの作業が終了しましたら、必ず手動にて、全閉全開動作確認を行って下さい。

〈確認項目〉

- ① パネルがスムーズに動きますか。
- ② パネルを全閉した時、はね出しローラーが上戸袋(右・左)、はね出し樹脂(右・左)の溝にきちんと納まっていますか。
- ③ パネルを全閉した時、掛パネルが受パネルにきちんと納まっていますか。

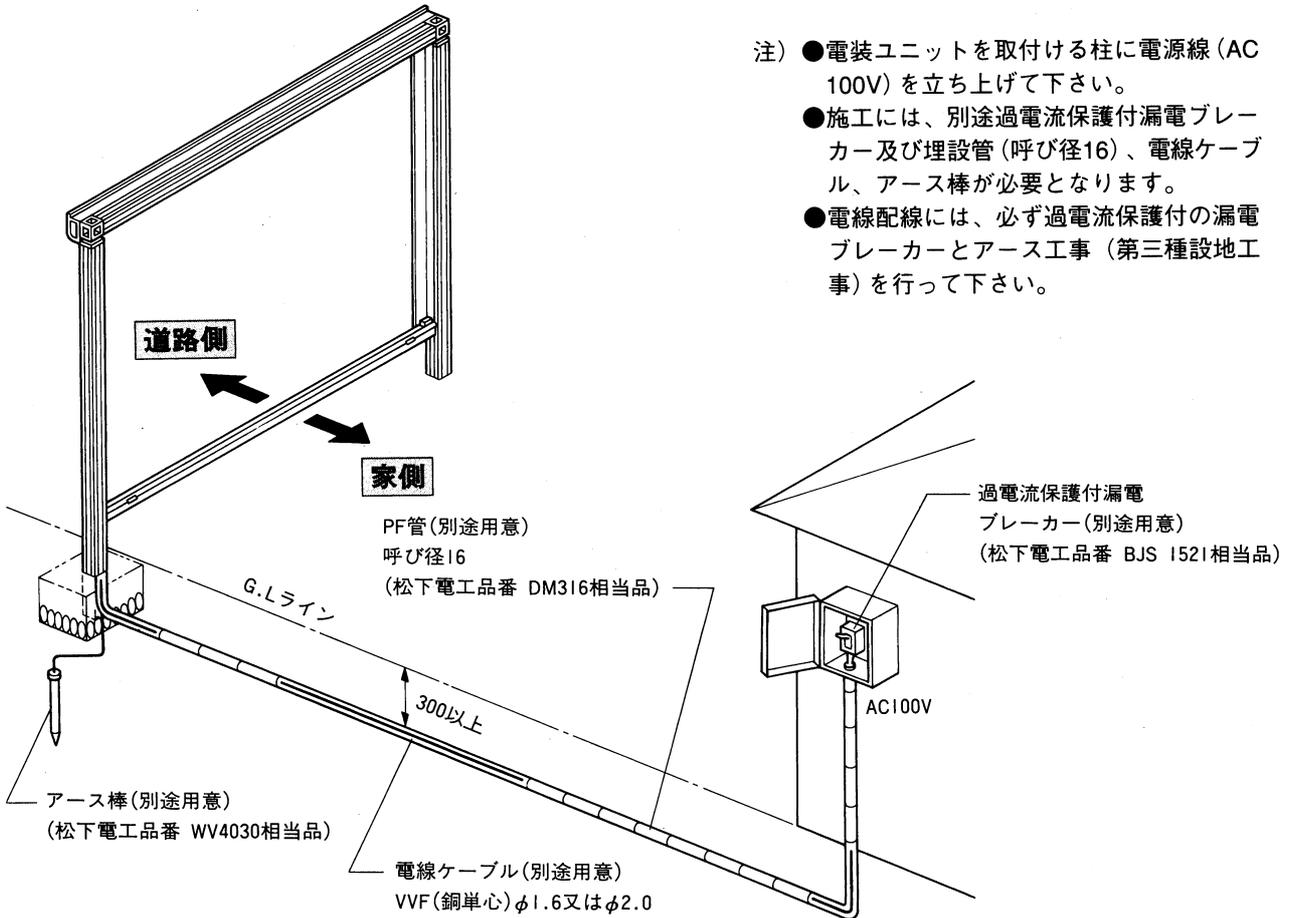
以上、確認を行ない動作が適切でない場合、下記の対策を行なって下さい。(確認項目と対策の項目番号は同じ番号どうして対応しています。)

〈対策〉

- ① レールにモルタル、土が付いていたら取除いて下さい。下ローラーがモルタルの上を走っていたら施工間違いです。モルタルを削り、GLからレールが15mm以上出る様にして下さい。
- ② 11項、調整に戻り、下戸袋、はね出し樹脂を調整して下さい。
- ③ 11項、12項に戻り、パネル調整及び下戸袋、はね出し樹脂を調整して下さい。
又、パネルと駆動部の連結をやり直して下さい。

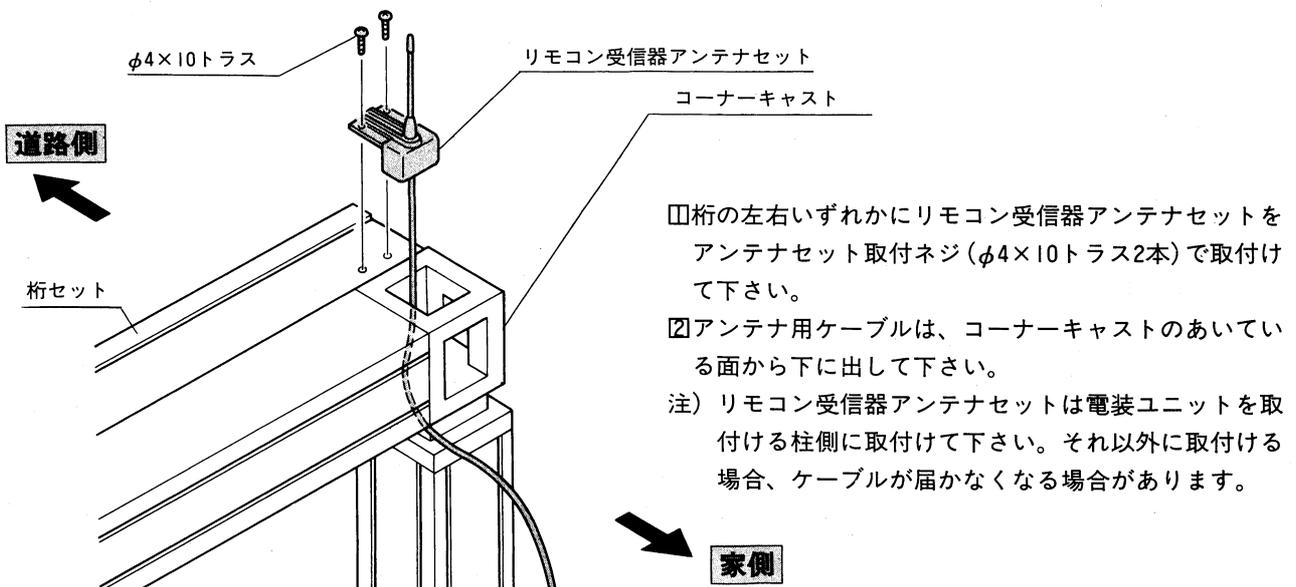
14. 配線

14項以降の施工に関しましては、電気工事店の有資格者に作業を依頼して下さい。

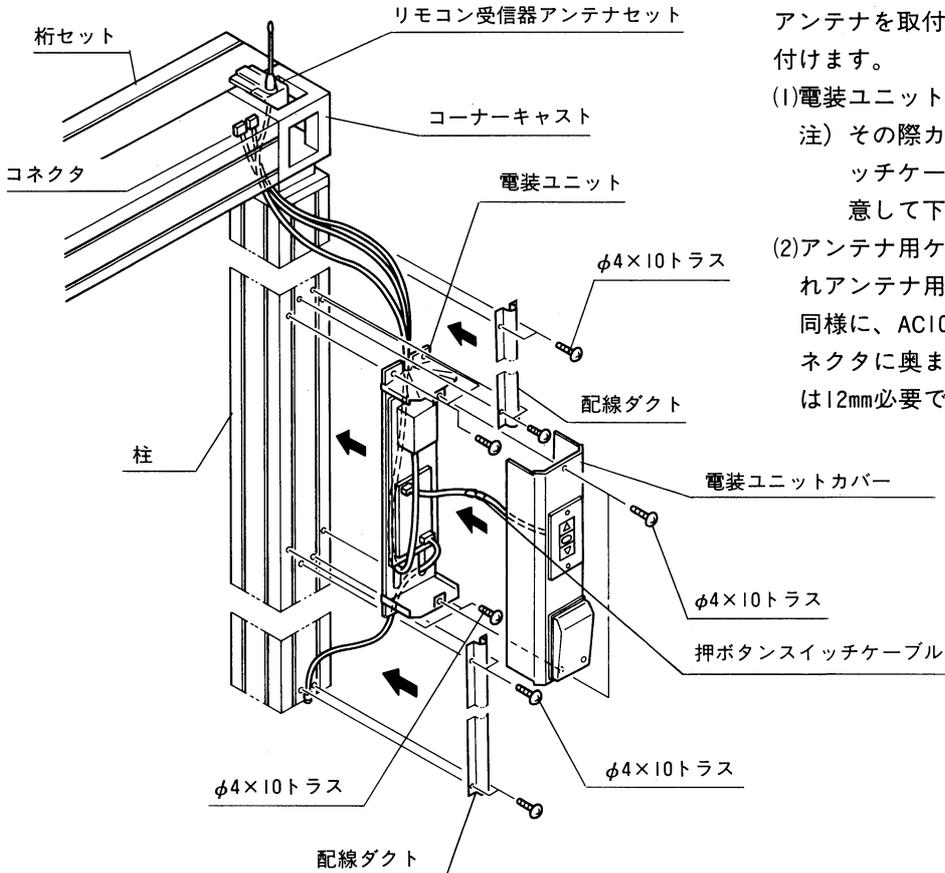


- 注) ●電装ユニットを取付ける柱に電源線(AC 100V)を立ち上げて下さい。
- 施工には、別途過電流保護付漏電ブレーカー及び埋設管(呼び径16)、電線ケーブル、アース棒が必要となります。
- 電線配線には、必ず過電流保護付の漏電ブレーカーとアース工事(第三種設地工事)を行って下さい。

(1) リモコン受信器アンテナセットの取付け



(2) 電装ユニットの取付け (柱 (右) ・ (左) どちらでも取付け可能です)



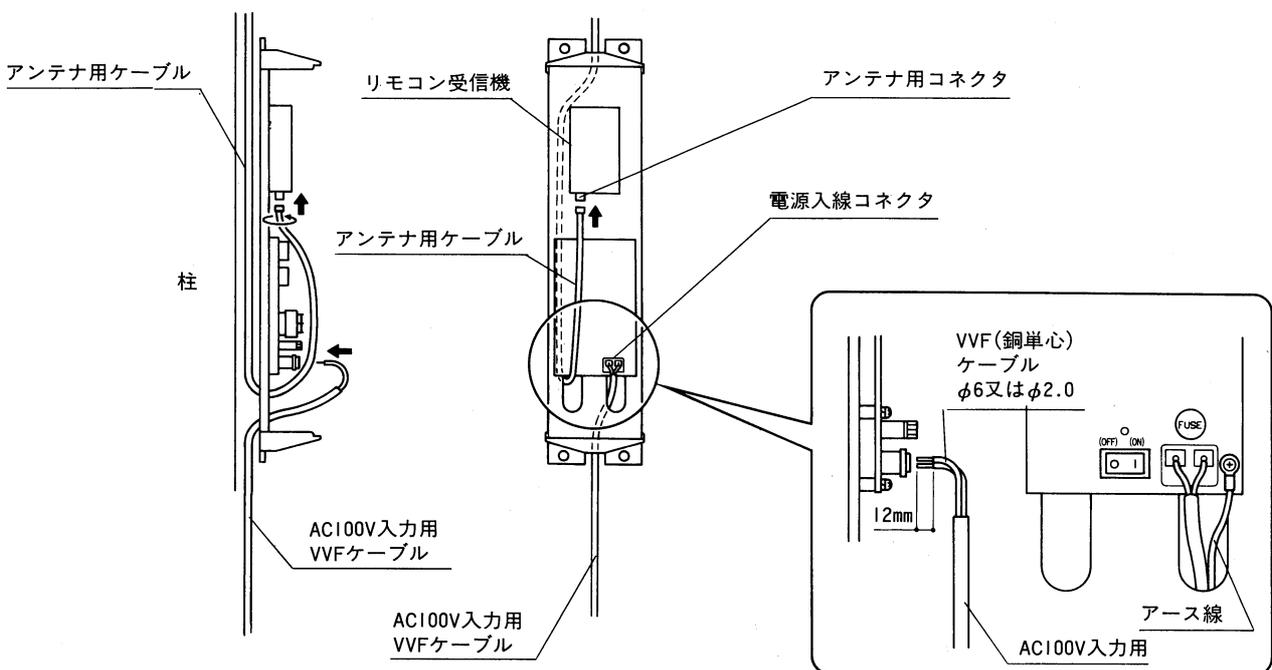
アンテナを取付けた側の柱に電装ユニットを取付けます。

(1) 電装ユニットのカバーをはずして下さい。

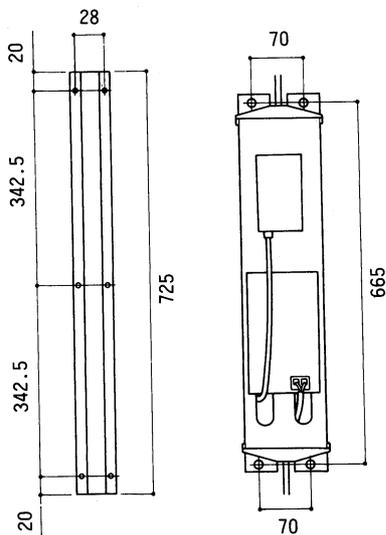
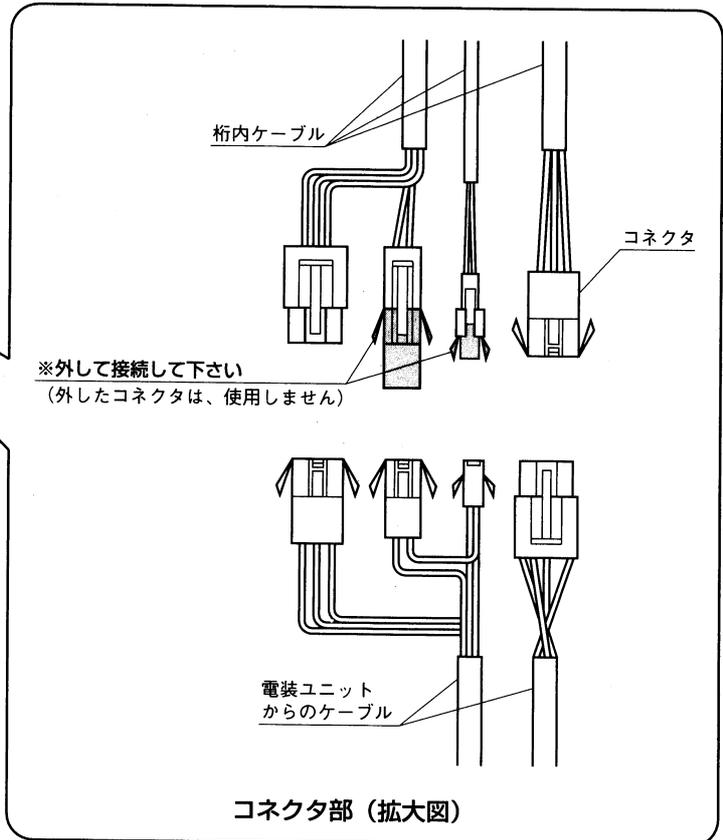
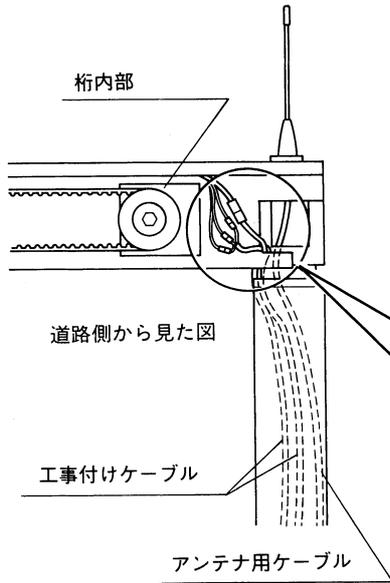
注) その際カバーとユニットは押ボタンスイッチケーブルで接続されていますので注意して下さい。

(2) アンテナ用ケーブルをユニットの背面から入れアンテナ用コネクタに接続して下さい。

同様に、AC100V用VVFケーブルを電源入線コネクタに奥まで差し込んで下さい。(銅単心部は12mm必要です)



(3) 駆動部への配線



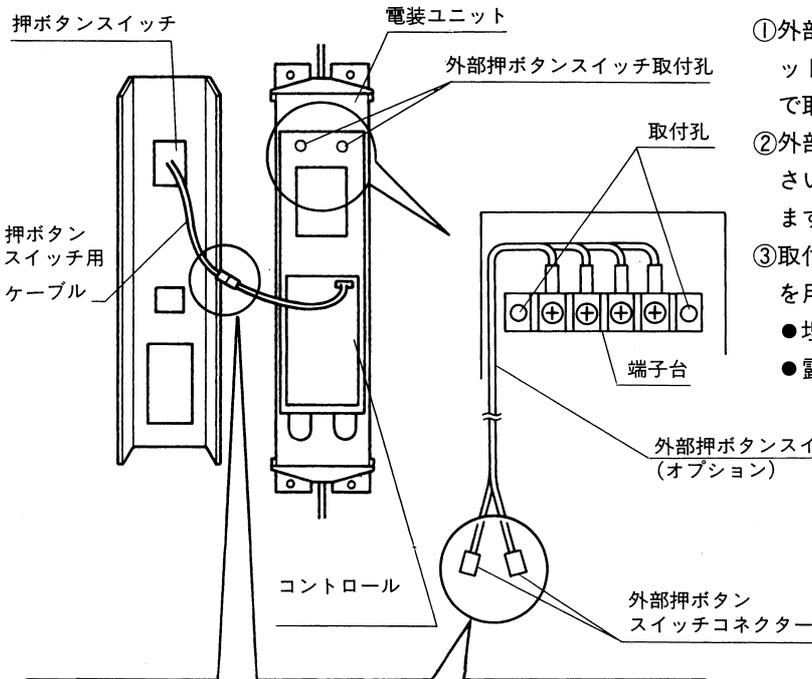
配線ダクト 電装ユニット

(3) 工場取付けされているケーブル(2本)は、アンテナ用ケーブルと同様にユニットの背面から桁までもち出し、桁内でケーブルをコネクタにて接続して下さい。

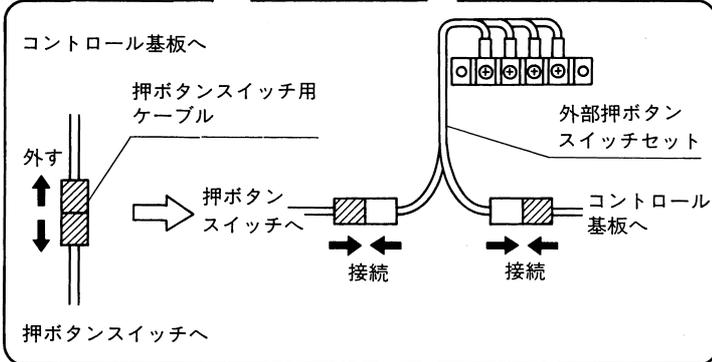
注) 桁内のケーブルのうち2ヶのコネクタに端子を保護する為のコネクタが接続されています。電装ユニットからのケーブルと接続する際には、コネクタを外して接続して下さい。また、桁の反対側の使用しないケーブルに接続されているコネクタは、そのままの状態絶対に外さないで下さい。

(4) すべての接続が終了しましたら電装ユニット及び配線ダクトを柱の中央付近に下孔(φ3.2)をあけ、電装ユニット取付ネジ(φ4×10トラス4本) 配線ダクト取付ネジ(φ4×10トラス12本)で取付けて下さい。

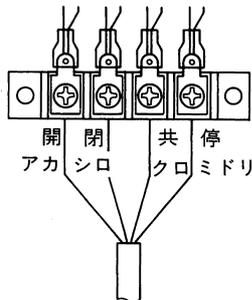
外部押ボタンスイッチの配線(オプション)



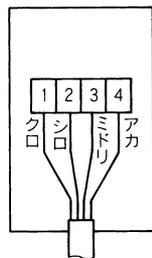
- ①外部押ボタンスイッチセットの端子台を電装ユニット内の取付孔に、 $\phi 4 \times 15$ タッピングネジ(2本)で取付けて下さい。
- ②外部押ボタンスイッチ用のコネクタを接続して下さい。押ボタンスイッチ用のコネクタと差し替えます。
- ③取付けボックス (市販スイッチボックス1ケ用)を用意して下さい (別途用意)。
 - 埋込タイプ (松下電工品番 DM37116相当品)
 - 露出タイプ (// DM38116相当品)



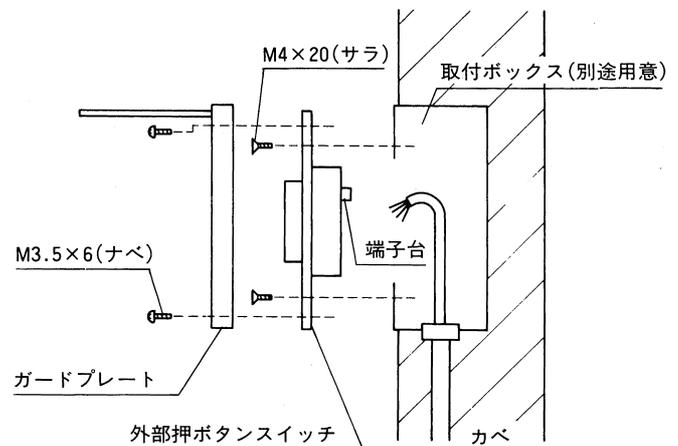
- ④電装ユニット内に取付けた外部押ボタン用の端子台にキャプタイヤケーブル(4芯)を接続して下さい。
- ⑤電装ユニットからキャプタイヤケーブル(4芯)持ち出し外部押ボタンスイッチの端子台に接続して下さい。
- ⑥外部押ボタンスイッチを取付ボックスに固定して下さい。
- ⑦ガードプレート外用をシーリングして下さい。



電装ユニット内の端子台の配線



外部押ボタンスイッチの端子台の配線

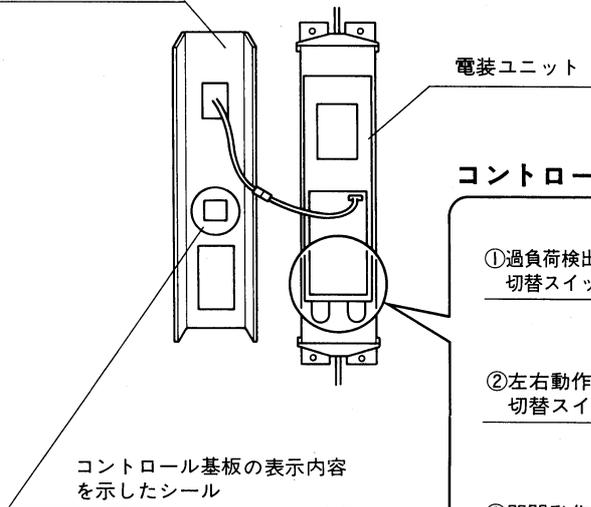


注) 小形マイナスドライバー隣接端子と接触しないように確実に接続して下さい。

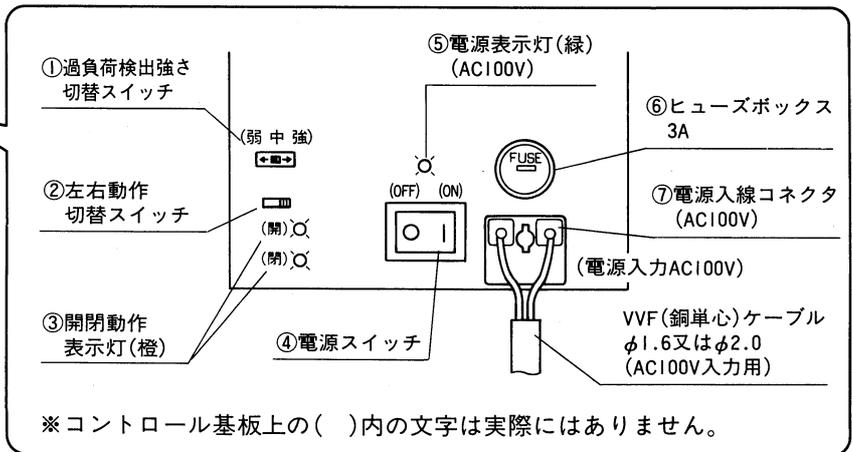
15. コントロール基板の名称及び働き

14項配線作業が終了した事を確認して下さい。

電装ユニットのカバーの裏側



コントロール基板(拡大図)



①過負荷検出強さ切替スイッチ

パネルが作動中に、人や車、障害物等に衝突した時に、大事故を防ぐ為に設定されている安全装置です。安全装置が働くと閉動作時には、約20cm後退して停止し、開動作時には、その場で停止します。

通常、出荷時、スイッチは“弱”に設定してあります。現場状況により“弱”で正常な動作をしない時にだけ、“中”又は“強”に切替えて使用して下さい。

②左右動作切替スイッチ

このスイッチは、出荷時の状態のままで必ず固定しておいて下さい。(スイッチは右側に固定しておいて下さい)

③開閉動作表示灯

電装ユニットが開動作時、閉動作時にランプ(橙色)が点灯します。

④電源スイッチ

電装ユニットの主電源をON、OFFさせるスイッチです。OFFにするとすべてのコントロール機能が停止し、フリーとなります。

⑤電源表示灯

電源スイッチをONにしてAC100Vがコントロール基板に供給させると、ランプ(緑色)が点灯します。電源スイッチがOFF、あるいは家側のブレーカーがOFF、AC100V電源の供給がストップした場合、ランプは消灯します。

⑥ヒューズボックス

3Aのヒューズが入っています。非常時、故障時以外は脱着する必要はありません。

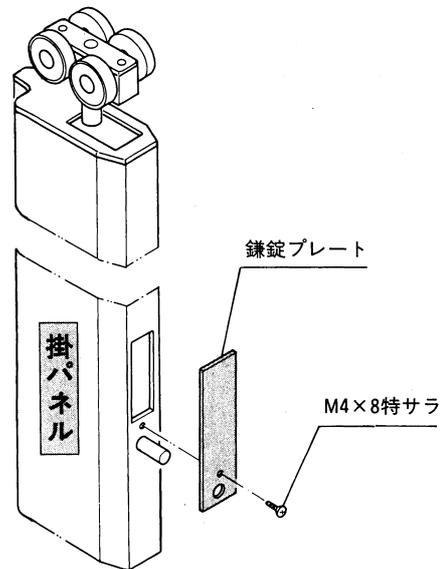
⑦電源入線コネクタ

コントロール基板のAC100V電源入力用コネクタです。ワンタッチで脱着できますが、使用ケーブルはφ1.6又は、φ2.0のVVF(銅単心)ケーブル専用となっています。

16. 鎌錠プレートを取付け

掛扉の図の位置のネジをはずし鎌錠プレートを取付けて下さい。

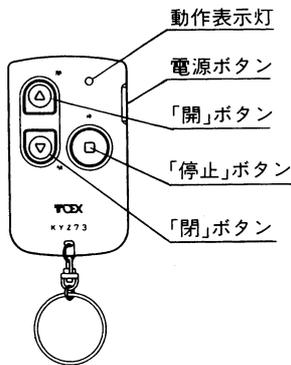
※注意 この鎌錠プレートを取付けませんと電動で操作させる場合支障をきたしますので必ず取付けて下さい。



17. 使用方法

① リモコン送信器での操作方法

リモコン送信器の押ボタンを押して扉を開閉して下さい。



MD-3リモコン送信器

①電源ボタンを押して下さい。動作表示灯が点滅します。

注)

- 動作表示灯の点滅時間は約15秒間です。15秒を経過すると点滅は自動的に消え②の操作をしても送信が行なわれなくなります。

②動作表示灯点滅中に「開」ボタンを押すと、動作表示灯が点灯しパネルが開きます。

- 途中で停止させるときは、「停止」ボタンを押します。

③動作表示灯点滅中に「閉」ボタンを押すと、動作表示灯が点灯しパネルが閉じます。

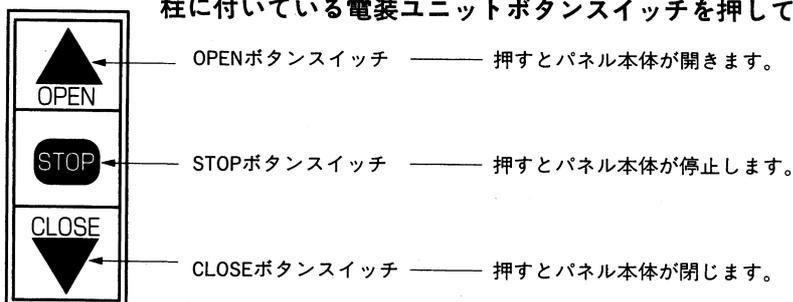
- 途中で停止させるときは、「停止」ボタンを押します。

注)

- リモコン送信器の実用到達距離約10m以内で操作して下さい。
- 開/閉動作中に、逆方向の閉または開動作をさせるときは、必ず一度「停止」ボタンを押してから、次の押ボタンを押して下さい。
- 「停止」ボタンだけは、電源ボタンを押さなくても送信が可能となっています。

② 電装ユニットボタンスイッチでの操作方法

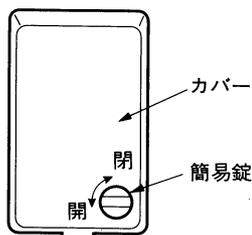
柱に付いている電装ユニットボタンスイッチを押してパネル本体を開閉して下さい。



電装ユニット押ボタンスイッチ

③外部押ボタンスイッチでの操作方法(オプション)

道路側に付ける外部押ボタンスイッチでパネル本体を開閉してください。



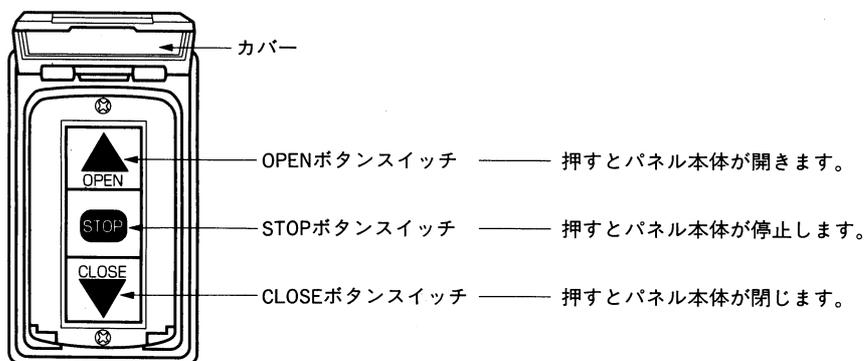
①カバーを開けます

簡易錠をコイン等で開方向（溝が水平の状態）に回して開けて下さい。

②押ボタンスイッチを押してパネル本体を開閉させます

③カバーを閉めます

カバーを閉め簡易錠をコイン等で閉方向（溝が垂直の状態）に回し施錠してください。



外部押ボタンスイッチ

④電動と手動の切替え

この電動装置は、通電時（AC100V）には、任意のパネル停止位置で、モーターによるロックが働く構造になっています。施工調整時、故障時、非常時に手動開閉した場合はコントロール基板の電源スイッチをOFFにすることにより、手動開閉可能となります。（非常時、災害時、停電時を考慮し、電源OFFでフリーとなる新機構を採用しています。）

従って、長時間電源供給をストップした状態で、パネルに施錠したい場合は掛扉の鎌錠プレートをはずしてお使い下さい。

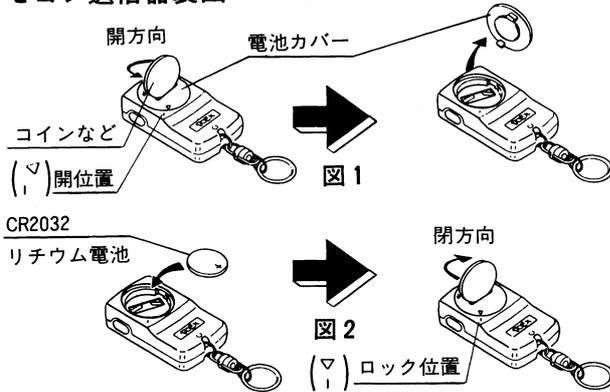
18. リモコンについて

■リモコン送信器の実用到達距離は約10mなのでその範囲内で操作して下さい。

①電池の入れ方

送信機はコイン型リチウム電池（CR2032）を1個使用します。出荷時、電池は部品として本体と同梱されています。

リモコン送信器裏面



①送信機裏側、カバーの溝にコイン等を差し込み、矢印方向に回して電池カバーを外します。(図1参照)

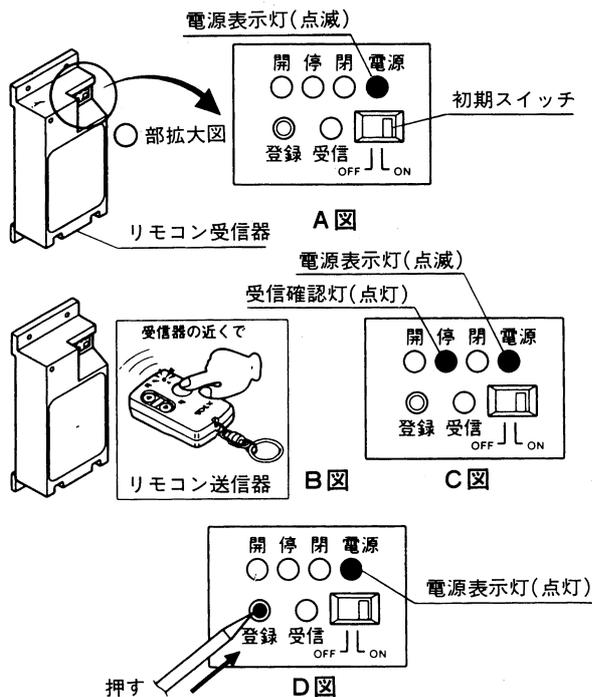
②電池は「+マーク」が見える向き（上側）ではめ込みます。(図2参照)

③電池カバーを、外した位置で差し込み、コイン等で矢印方向（時計方向）に回して閉めます。(図2参照)

<注意>

・「マーク」を合わせます。「締め忘れ」に注意してください。(図2「ロック位置マーク」参照)

②登録方法



①電装ユニットのコントロールカバーをはずします。

②リモコン受信器の初期スイッチを「ON」側にして、電源表示灯（緑色）を点滅させます。点滅しない場合は、初期スイッチを一度「OFF」にして、もう一度「ON」側にします。(A図参照)

③リモコン送信器の「停止」ボタンを、受信器近くで押して登録します。受信確認灯「停」が赤色点灯し送信器登録が完了します。(B、C参照)

④リモコン送信器の登録操作後、受信器の登録操作後、受信器の「登録スイッチ」をボールペンの先などで押して登録、または電源表示灯の点滅が「点灯」に変わるまで待ちます。「点灯」表示で受信器登録が完了します。(D図参照)

⑤はずしたコントロールカバーを取付けます。

<注意>

・受信器への登録は、必ず電源表示が「点滅している1分間」に操作して下さい。

③追加登録方法

①リモコン受信器の登録スイッチをボールペンの先端などで押して電源表示灯を点滅させます。(D図参照)

②「②登録方法」の③、④の操作をして下さい。

・リモコン受信器1台でリモコン送信器16台まで登録できます。

・複数のリモコン送信器をご使用になる場合は、別売りのリモコン送信器セット（KYZ73）をお求め頂き上記手順でセットして下さい。

<注意>

・「リモコン登録抹消」以外の目的で、初期スイッチを「OFF」にした場合、登録している送信器はすべて操作できなくなります。

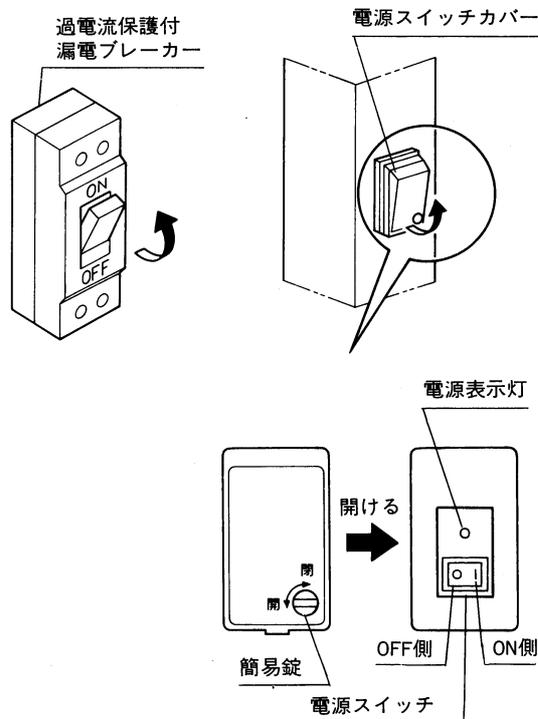
④登録取り消し方法

①すべての登録を取り消す場合は、リモコン受信器の初期スイッチを「OFF」側にします。

19. 施工の確認(最終)

① 電源の投入

- ① 家側に設置した過電流保護付漏電ブレーカーをONにして下さい。
- ② 電装ユニットの電源スイッチカバーを開けて下さい。
簡易錠をコイン等で開方向（溝が水平の状態）に回すとカバーは開きます。
- ③ コントロール基板の電源スイッチをONにし、電源等が点灯する事も確認して下さい。
- ④ 全ての調整・確認が終了したら、電源スイッチカバーも閉めて下さい。



② 電動動作での確認

17項の使用方法を参照し、動作させて下さい。

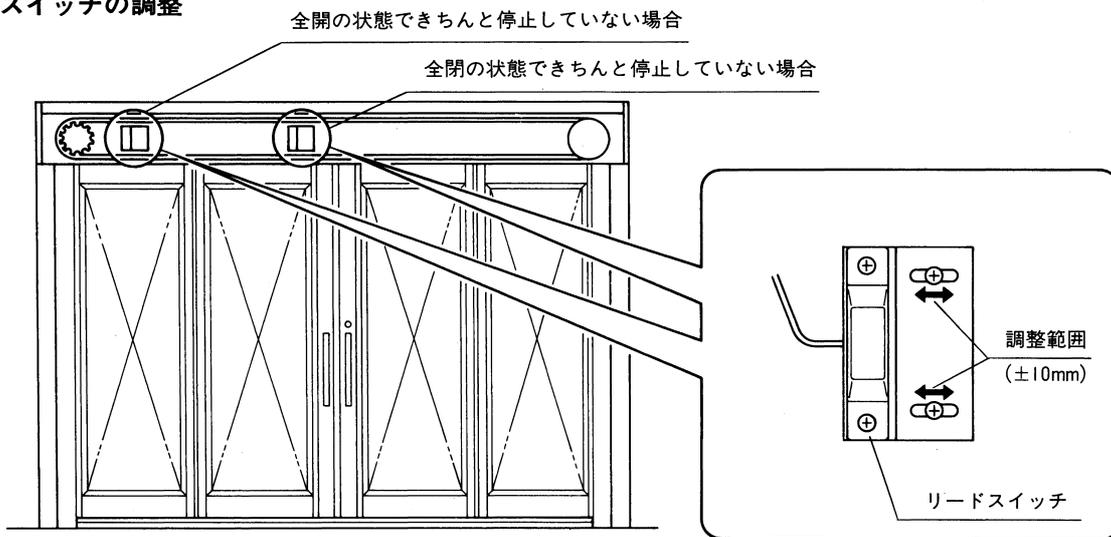
〈確認項目〉

- ① コントロール基板の電源表示灯が点灯(緑)していますか。
 - ② パネルが全開、全閉状態できちんと停止していますか。
パネルが全開、全閉になる前に停止したり、全開、全閉状態できちんと停止していますか。
 - ③ リモコン送信器で、開・閉・停の動作が行なえますか。
 - ④ 電装ユニット押ボタンスイッチで、開・閉・停の動作が行なえますか。
 - ⑤ 外部押ボタンスイッチ(オプション)で、開・閉・停の動作が行なえますか。
 - ⑥ パネルの開閉動作時に、過負荷検出安全装置が働きますか。
 - ⑦ パネルが停止している時に、手動で動かない状態（パネルにロックがかかっている状態）になっていますか。
又、電源スイッチをOFFにするとロックが解除され、手動開閉が行なえる状態になりますか。
- 以上、確認を行ない動作が適切でない場合、下記の対策を行なって下さい。(確認項目と対策の項目番号は同じ番号どうしで対応しています。)

〈対策〉

- ① AC100V電源が供給されていません。14項に戻り家側の過電流保護付漏電ブレーカー及び配線を確認して下さい。
- ② 13項、施工の確認（第一段階）に戻り、調整を行なって下さい。
パネルが全開、全閉状態できちんと停止していない場合、駆動部ベースに設置されているリードスイッチの設定が不適当です。リードスイッチの調整を行なって下さい。

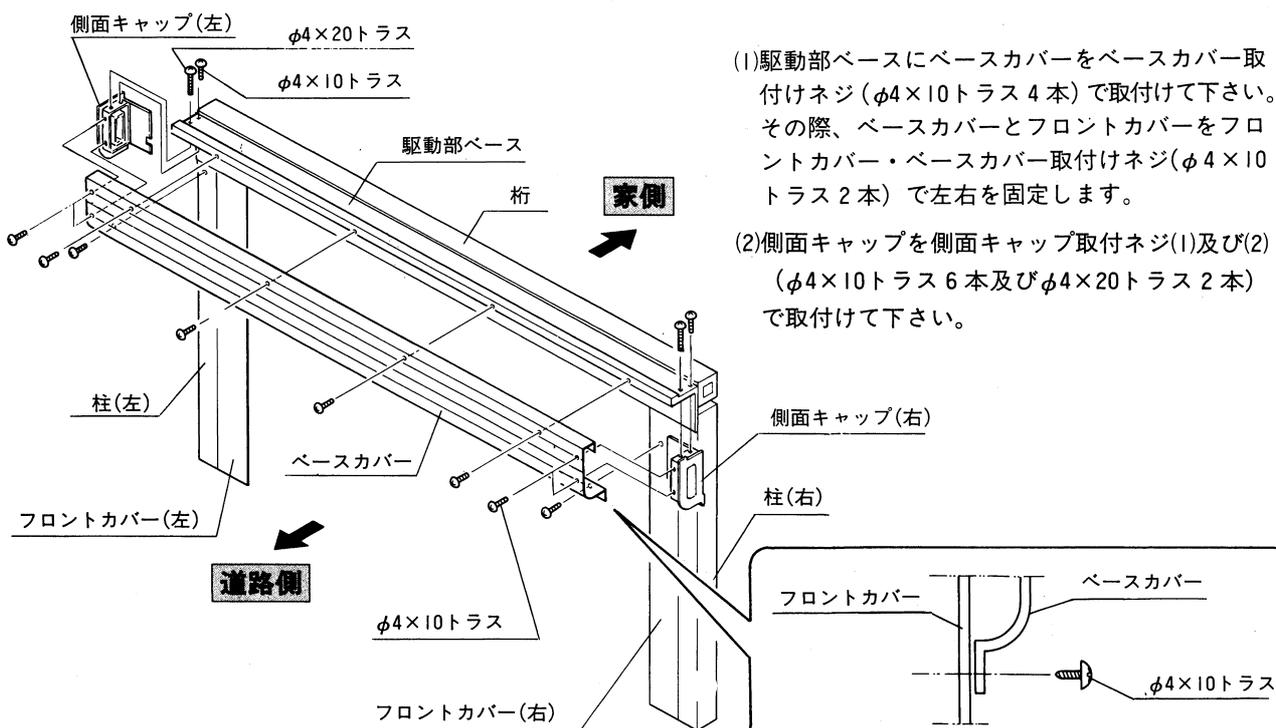
リードスイッチの調整



- ③ リモコン受信機のアンテナがきちんと取付いているか確認して下さい。
リモコン送信器が受信機に登録されていない場合、全く動作しません。17項のリモコン送信器登録方法を読み、再登録して下さい。
- ④ 押ボタンスイッチのコネクタを再確認して下さい。
- ⑤ 外部押ボタンスイッチのコネクタを再確認して下さい。
- ⑥、⑦ 電装ユニットに異常があります。コネクタ類を全て、一回、脱着して様子を見て下さい。

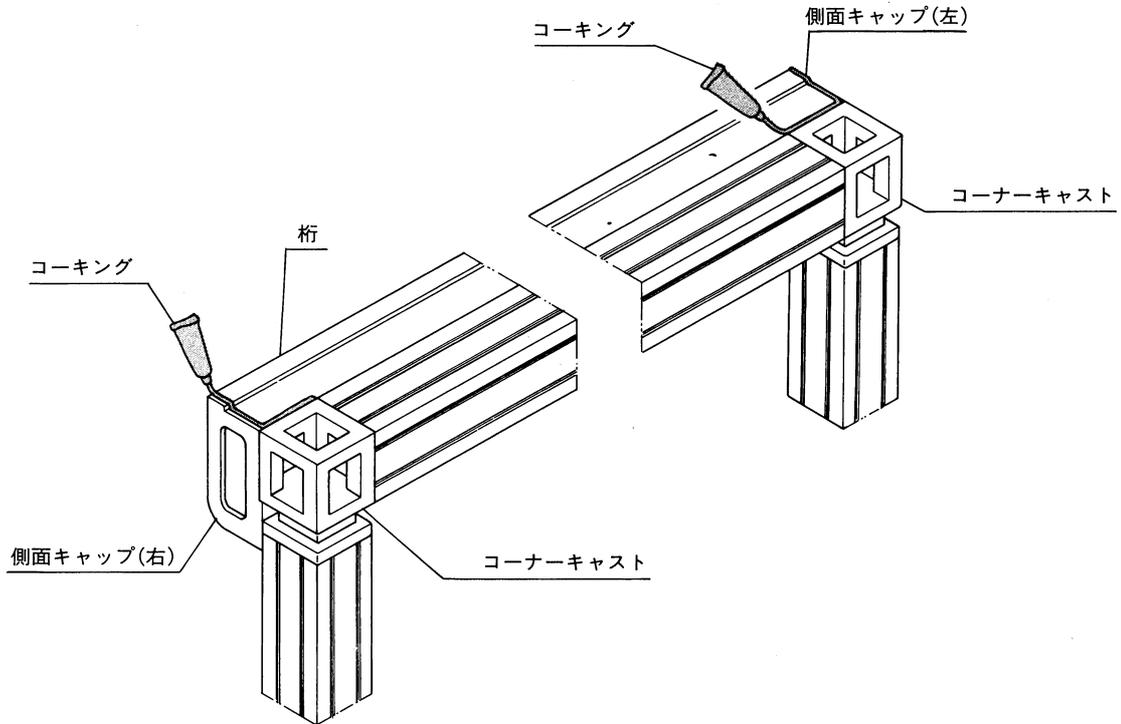
以上、施工の確認が終了しましたら、19.ベースカバーの取付け・20.側面キャップのコーキングを行ない終了です。

20.ベースカバー・側面キャップの取付け



21.側面キャップのコーキング

コーナーキャスト～桁～側面キャップの図の位置にコーキングを施して下さい。



仕 様

入 力 電 圧	AC100V (50/60Hz)
消費電力(動作時)	約50W
モーター定格出力	15W
周 囲 温 度	-10°C～50°C
開 閉 速 度	8cm/秒(50Hz)、10.5cm/秒(60Hz)
開 閉 時 間	17秒(50Hz)、14秒(60Hz)
リモコン到達距離	見通し距離約10m(使用環境で短くなる場合があります)
操 作 方 法	押ボタンスイッチ、リモコン

取説コード

D131

IB-E①
200004E